

第7回CN専門委員会 次第

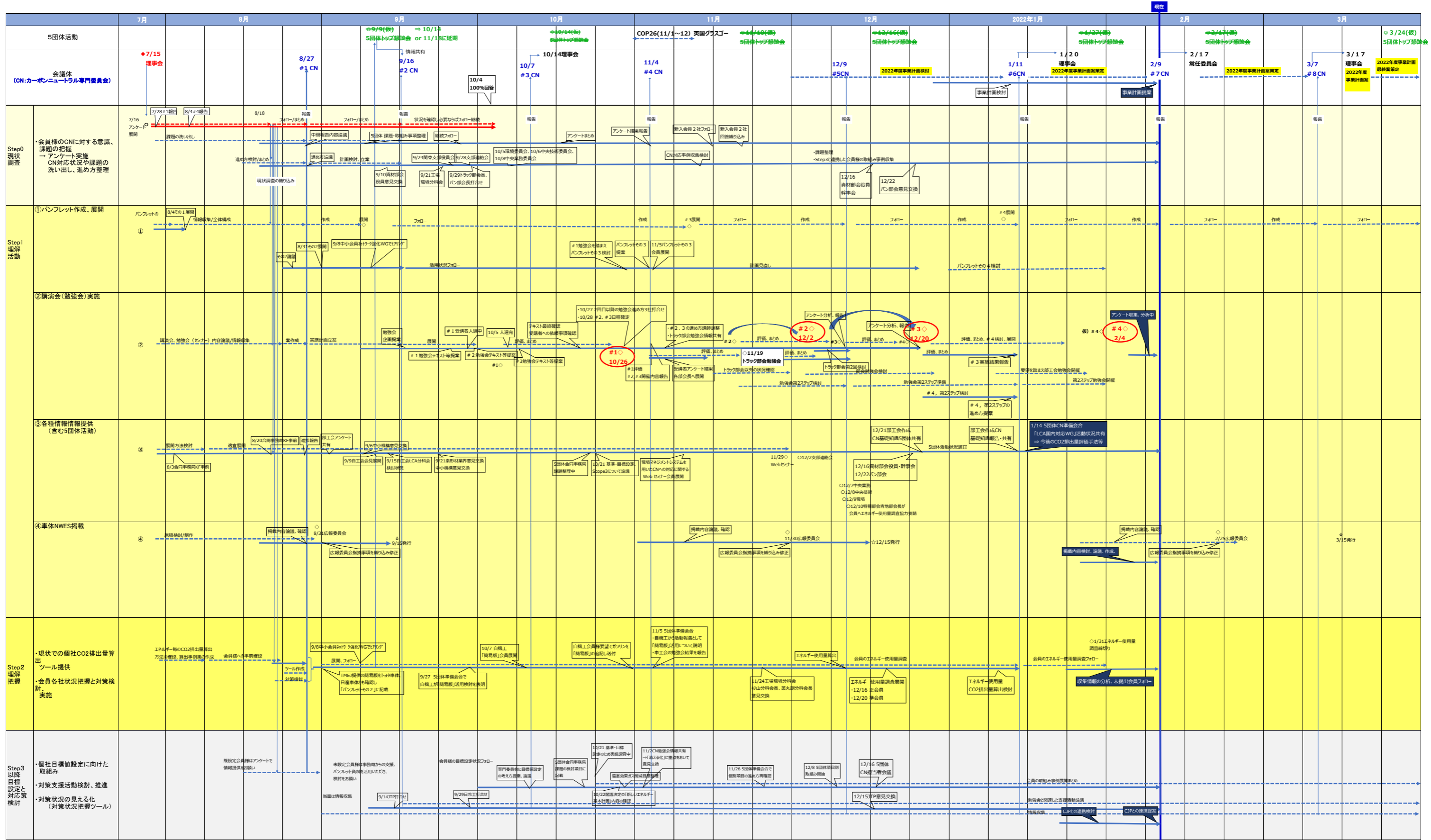
1. 進捗確認【資料配布】
2. CJP（Commercial Japan Partnership）との連携について【審議】
3. エネルギー使用量調査状況【報告】
4. CN専門委員会 2022年度事業計画（案）【審議】

2022.2.9
車工会 事務局

カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第7回 2022年2月9日(水) 10：30～12：00

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	WEB
2	副委員長	高橋 和也	(副会長)	極東開発工業(株)	取締役会長	WEB
3		矢野 彰一	(副会長、バン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	WEB
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	WEB
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	WEB
		鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	経営企画部 担当役員	WEB
6		田沼 勝之	特装部会長	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	WEB
7		青地 潔	特種部会長	(株)オートワークス京都	取締役社長	WEB
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	WEB
9		昼間 弘康	バン部会長	日本フルハーフ(株)	取締役会長	WEB
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	WEB
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役副社長	WEB
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	WEB
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	WEB
14	事務局	岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	WEB
15		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	P E・環境部 部長	WEB
16		鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1 開発領域長	WEB
17		吉田 量年		車体工業会	専務理事	WEB
18		小森 啓行		車体工業会	業務部長	WEB
19		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	WEB

カーボンニュートラル取組み(2021年7月~2022年3月)

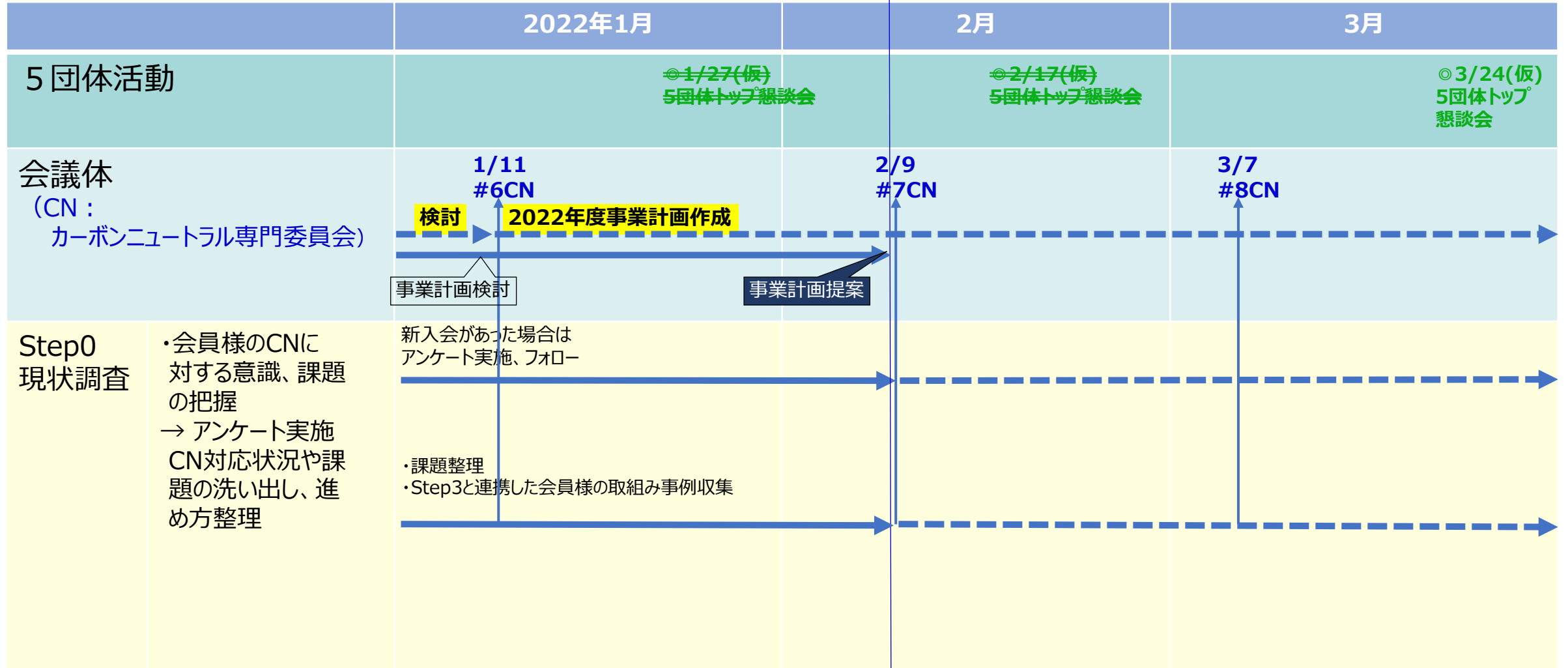


<カーボンニュートラル取組み>

現在

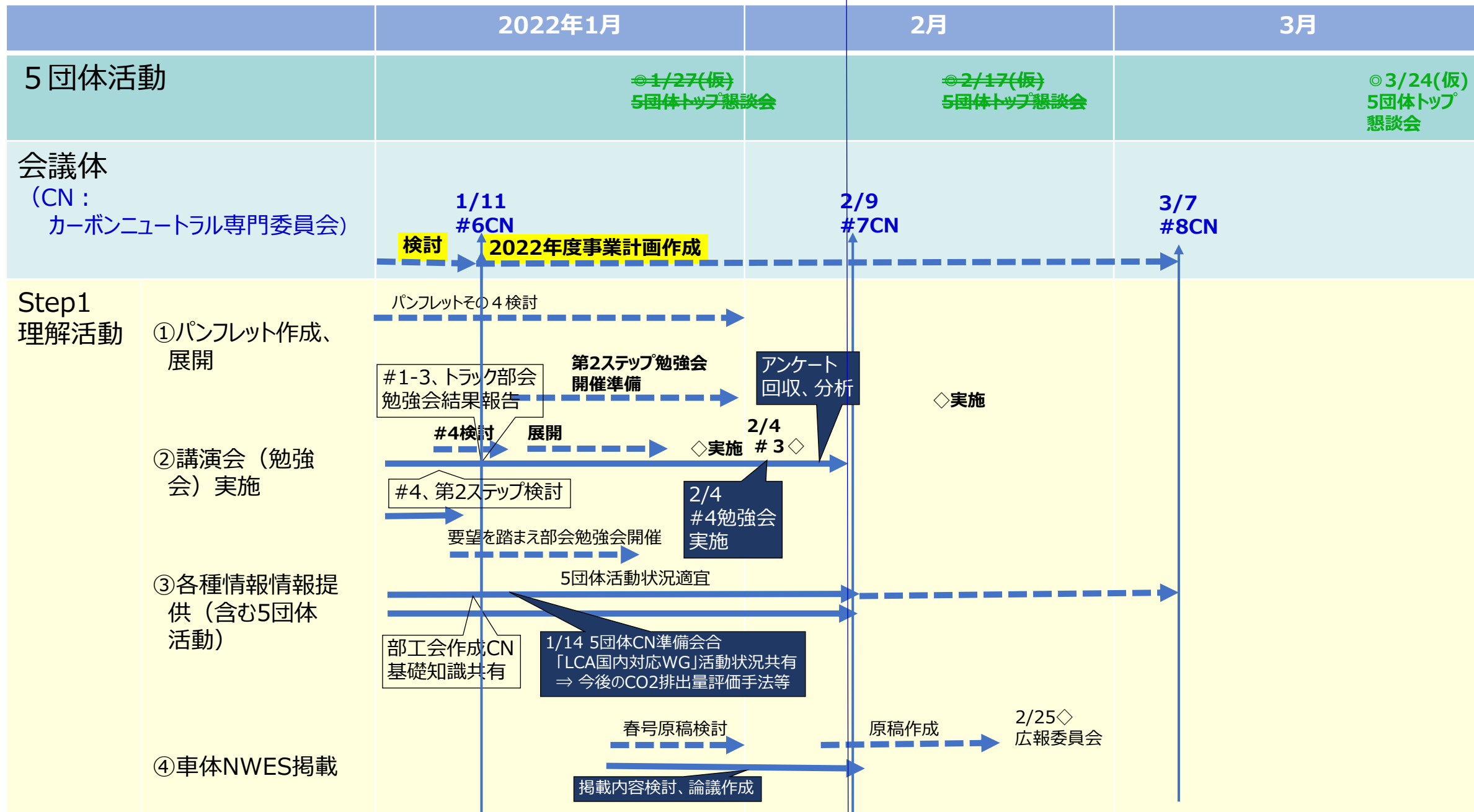
2022.2.9
事務局

1/3



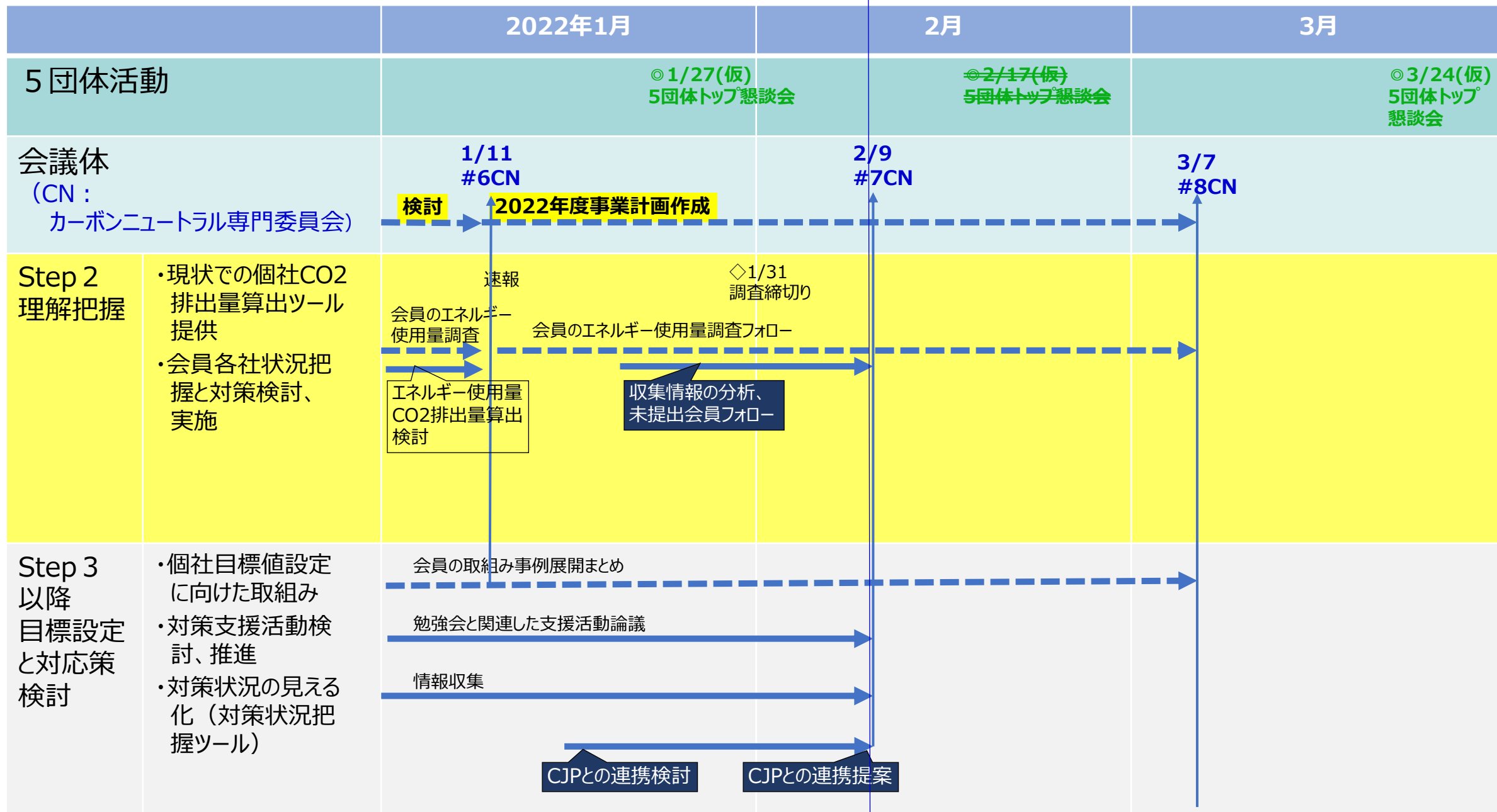
<カーボンニュートラル取組み>

現在



<カーボンニュートラル取組み>

現在

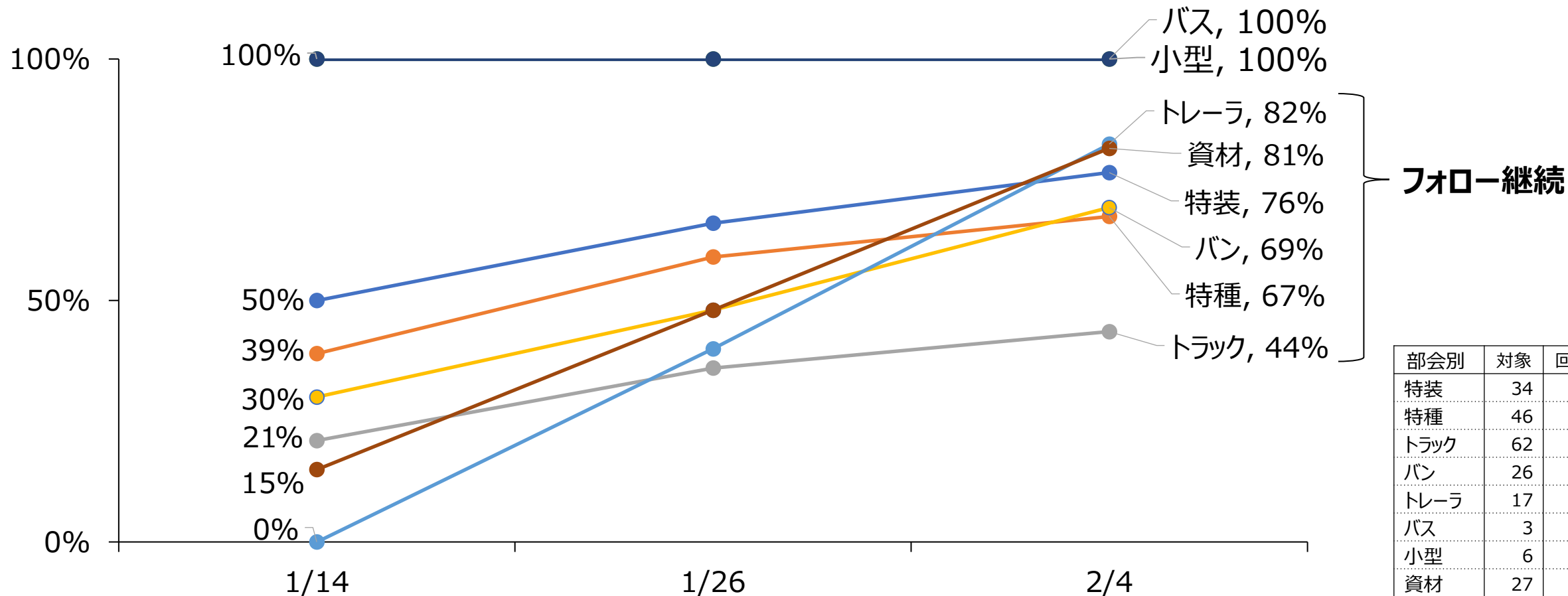


エネルギー使用量調査状況 (2/4現在)

2022年 2月 9日
CN専門委員会 事務局

調査対象 環境委員会で調査済：**40社** + アンケート依頼：**156社** **計 196社** (3社追加)

回収状況 // + アンケート依頼：**83社** **計 123社 (63%)**



車工会 CO2排出量 (エネルギー使用量を基に算出)

1. CO2排出量

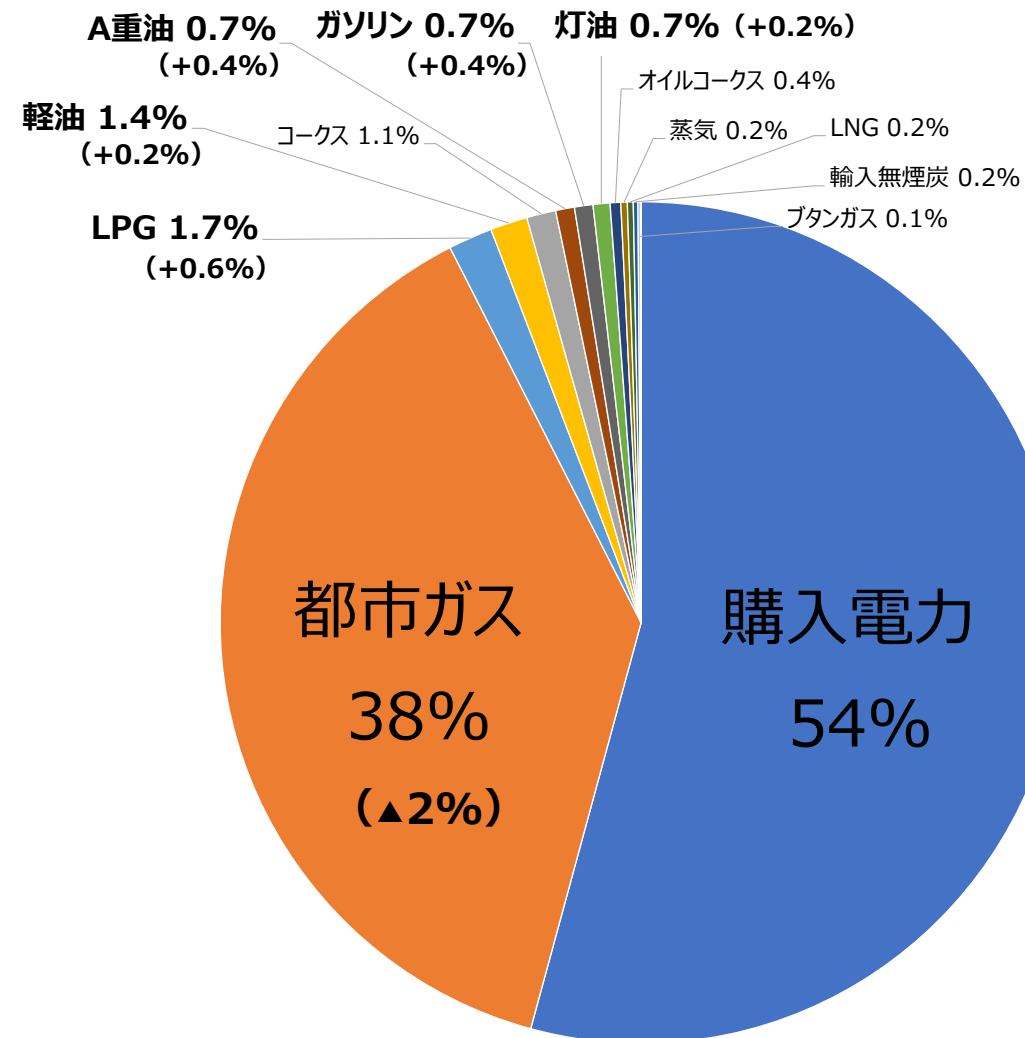
※123/196社 (63%) 2/4 現在
(3社追加)

エネルギー種類		車工会全体		正会員		準会員	
		(123社/196社)		(101社/169社)		(22社/27社)	
電力	使用電力	735,780		711,976		23,805	
	再エネ発電電力	-98		-21		-78	
	自家発電電力	-153,886		-153,823		-63	
	購入電力	581,796	54.2%	558,132	54.3%	23,664	52.2%
燃料	都市ガス	410,632	38.3%	398,636	38.8%	11,995	26.4%
	LPG	18,205	1.7%	17,824	1.7%	381	0.8%
	軽油	15,280	1.4%	14,233	1.4%	1,047	2.3%
	コークス	12,054	1.1%	12,054	1.2%	0	0.0%
	A重油	7,734	0.7%	3,841	0.4%	3,892	8.6%
	ガソリン	7,586	0.7%	4,068	0.4%	3,518	7.8%
	灯油	6,987	0.7%	6,141	0.6%	845	1.9%
	オイルコークス	4,351	0.4%	4,351	0.4%	0	0.0%
	蒸気	2,668	0.2%	2,668	0.3%	0	0.0%
	LNG	2,422	0.2%	2,422	0.2%	0	0.0%
	輸入無煙炭	1,909	0.2%	1,909	0.2%	0	0.0%
	ブタンガス	943	0.1%	912	0.1%	32	0.1%
	温水	152	0.0%	152	0.0%	0	0.0%
	その他石油製品	113	0.0%	113	0.0%	0	0.0%
	潤滑油	70	0.0%	70	0.0%	0	0.0%
	天然ガス	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
	合計 (t-CO2)		1,072,902	100.0%	1,027,527	100.0%	45,375

参考	再エネ発電【売電】*	1,613	1,466	147
----	------------	-------	-------	-----

※再エネ【売電】：契約終了後、自家消費に切替でCO2削減アイテムになる

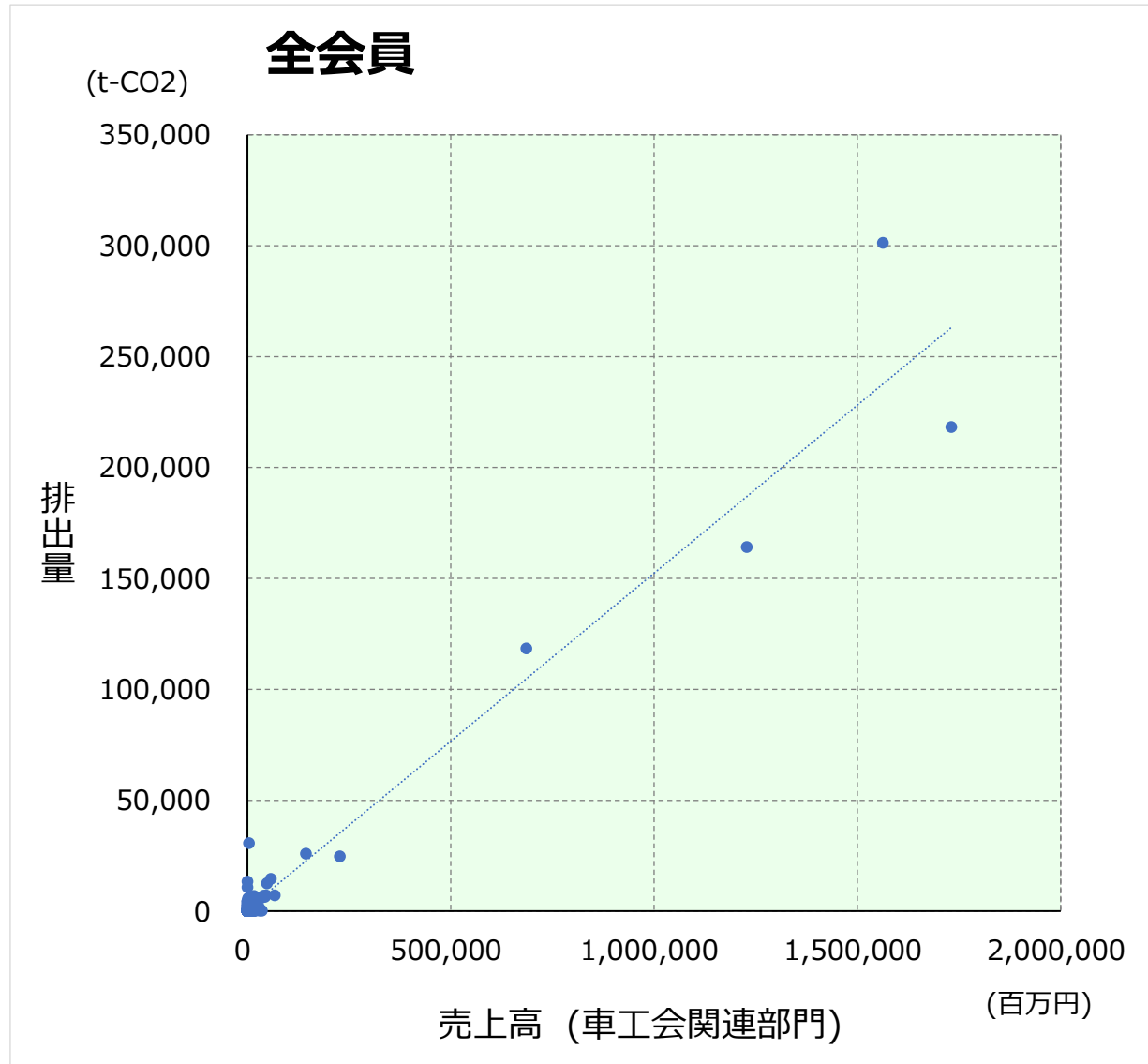
2. エネルギー割合



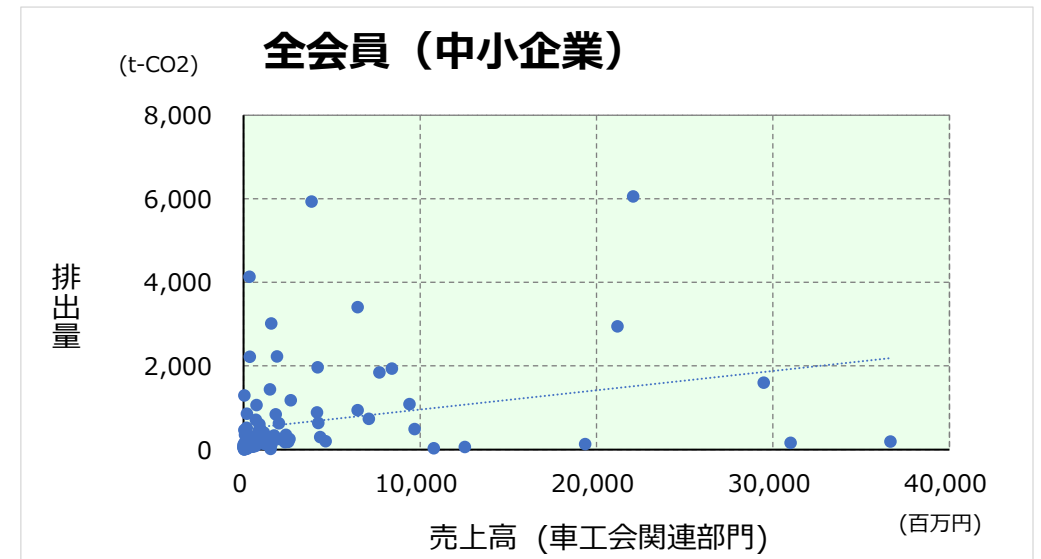
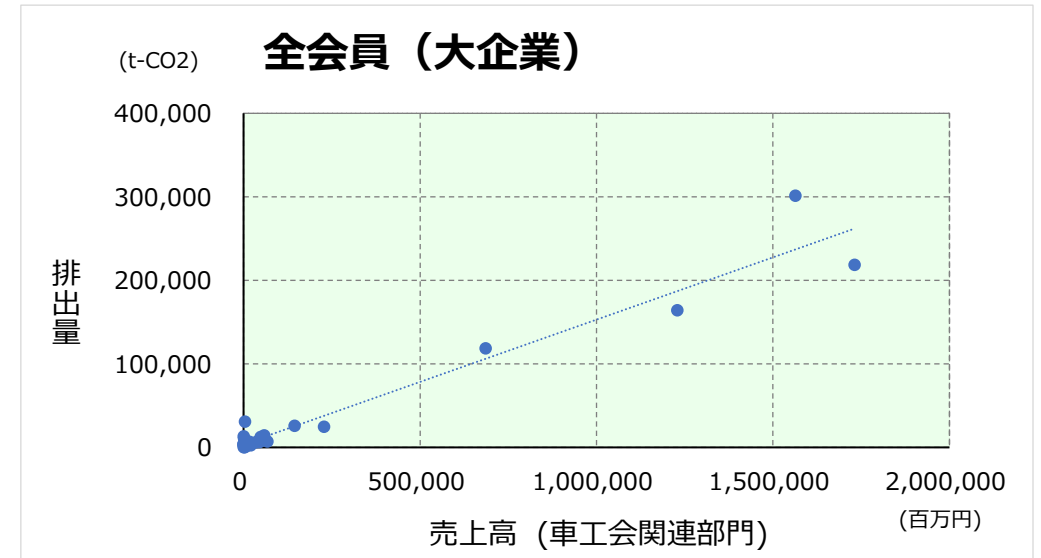
(1/11報告時からの増減)

3. CO2排出量・売上高 散布図

【全体】

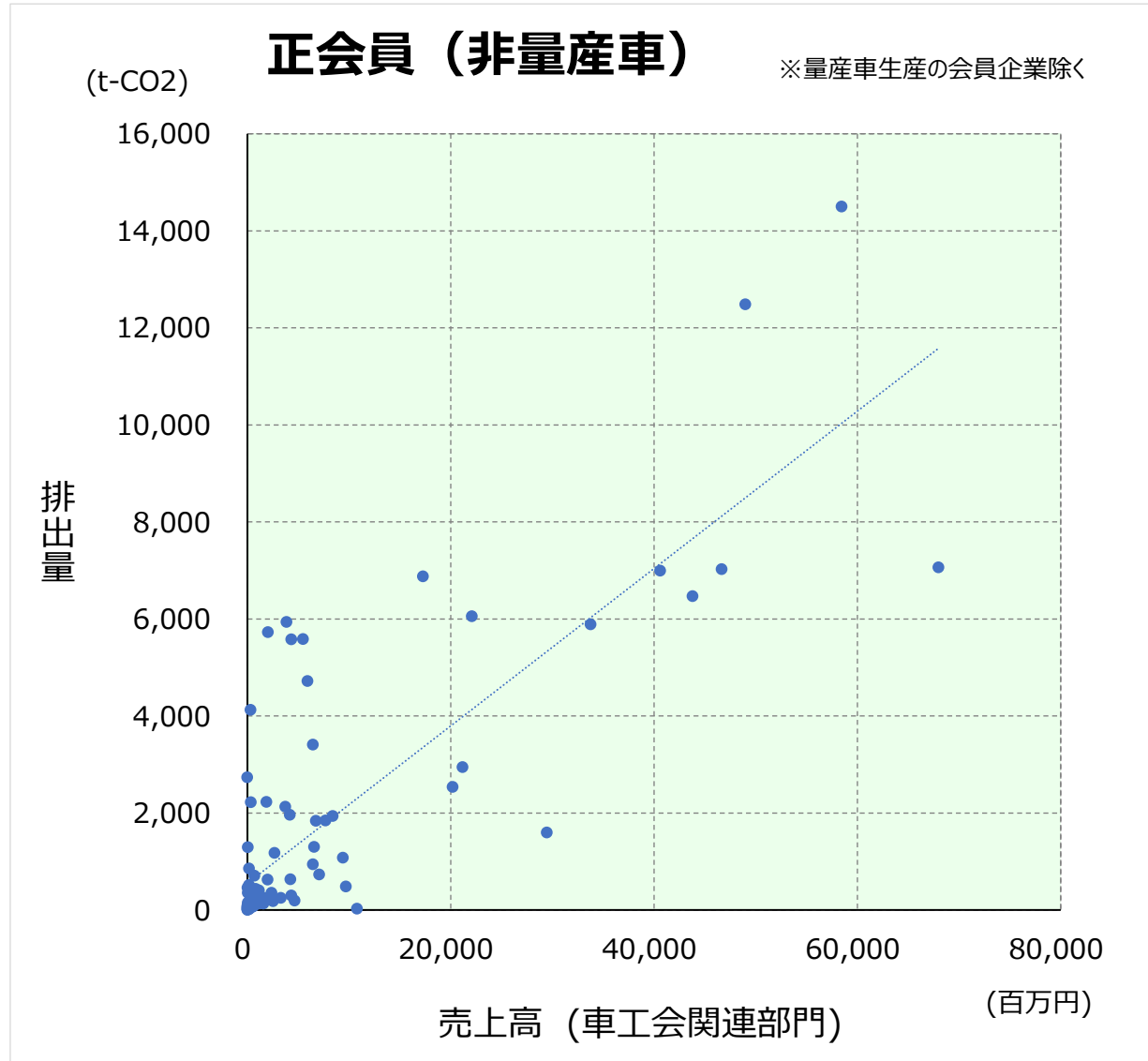


注：『車工会関連部門のみの売上高』に対し、『CO2排出量は企業全体』の会員あり
(売上高に対し、排出量が多く見える)

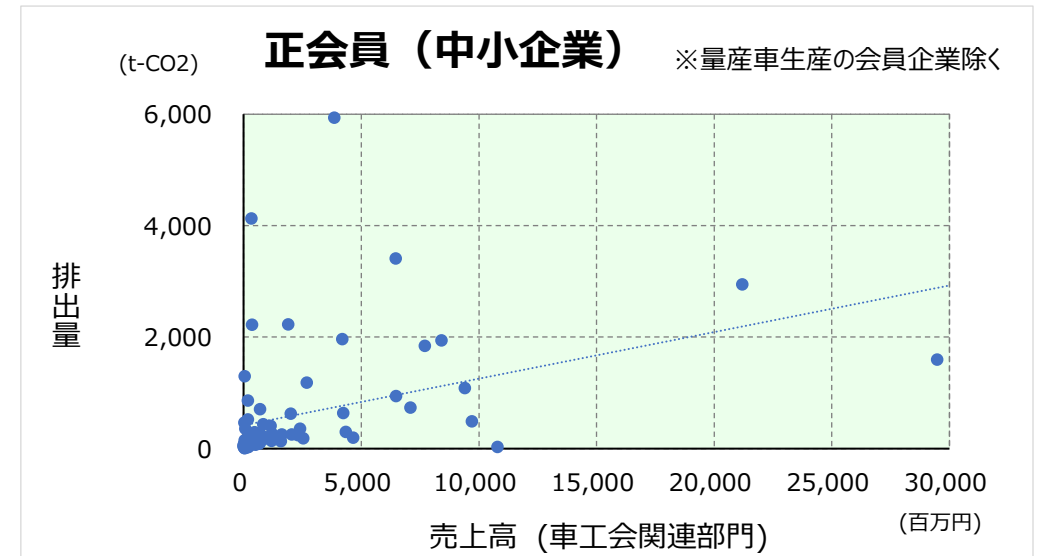
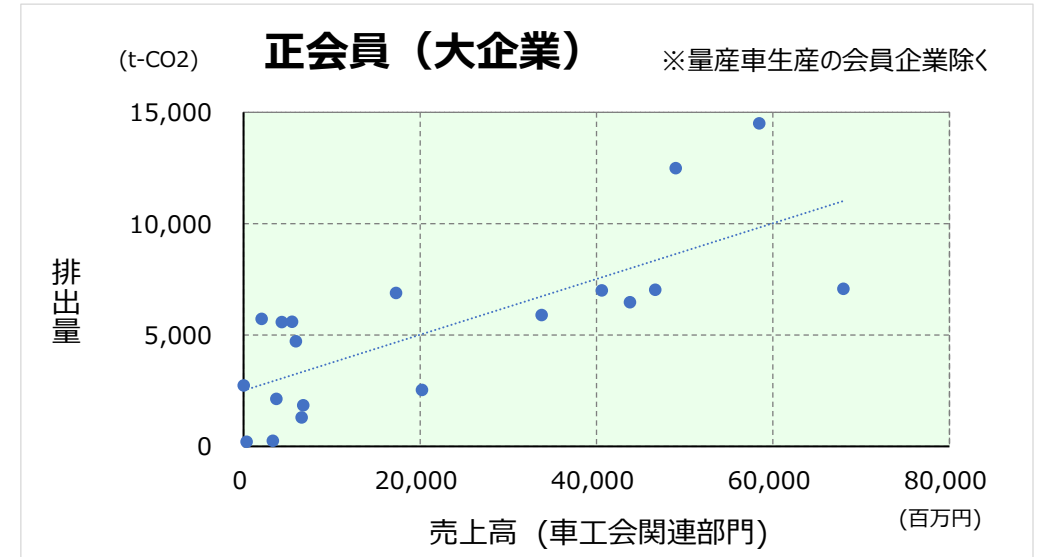


3. CO2排出量・売上高 散布図

【正会員のみ】



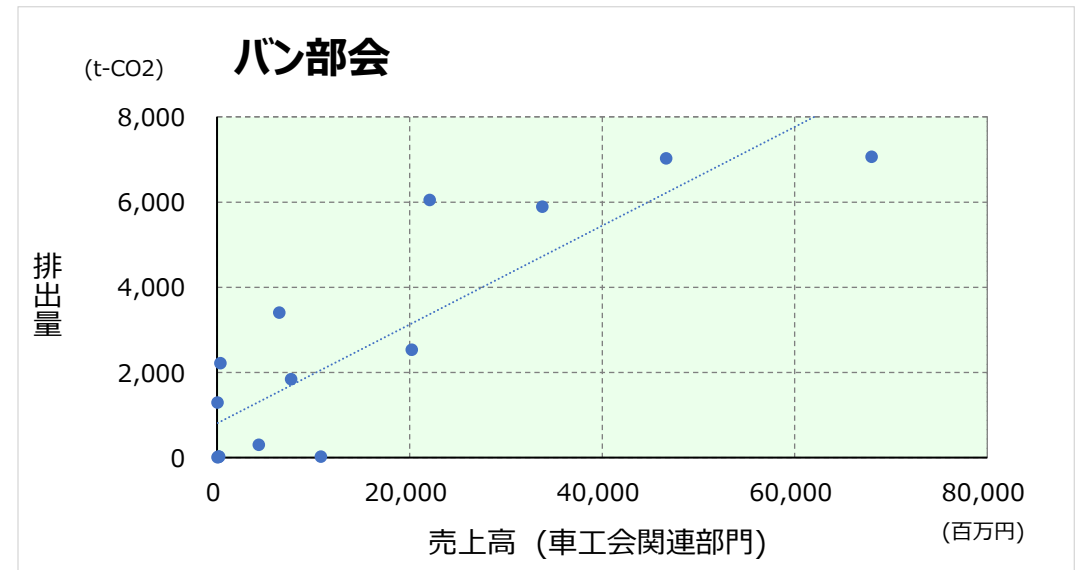
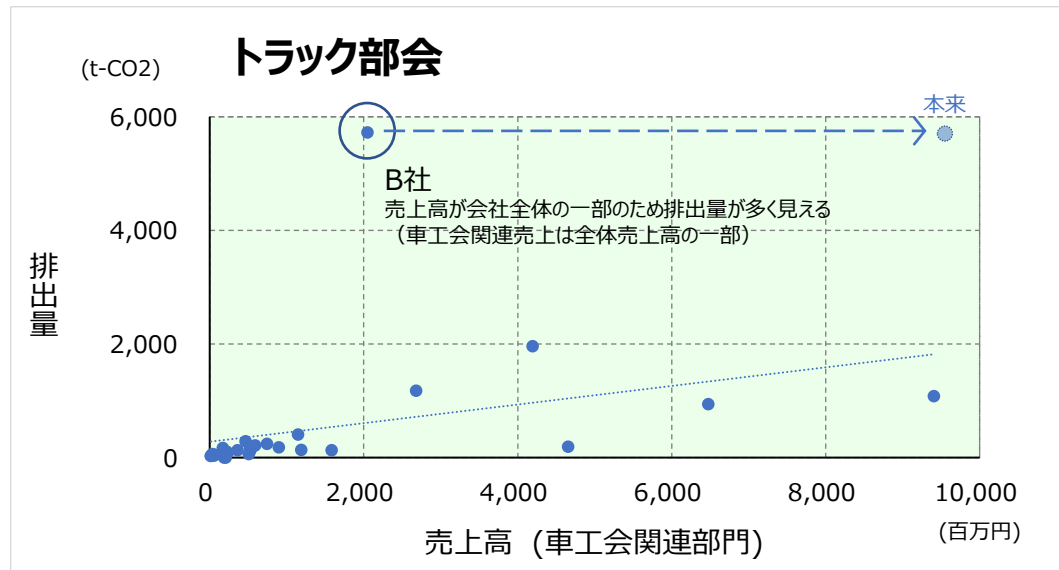
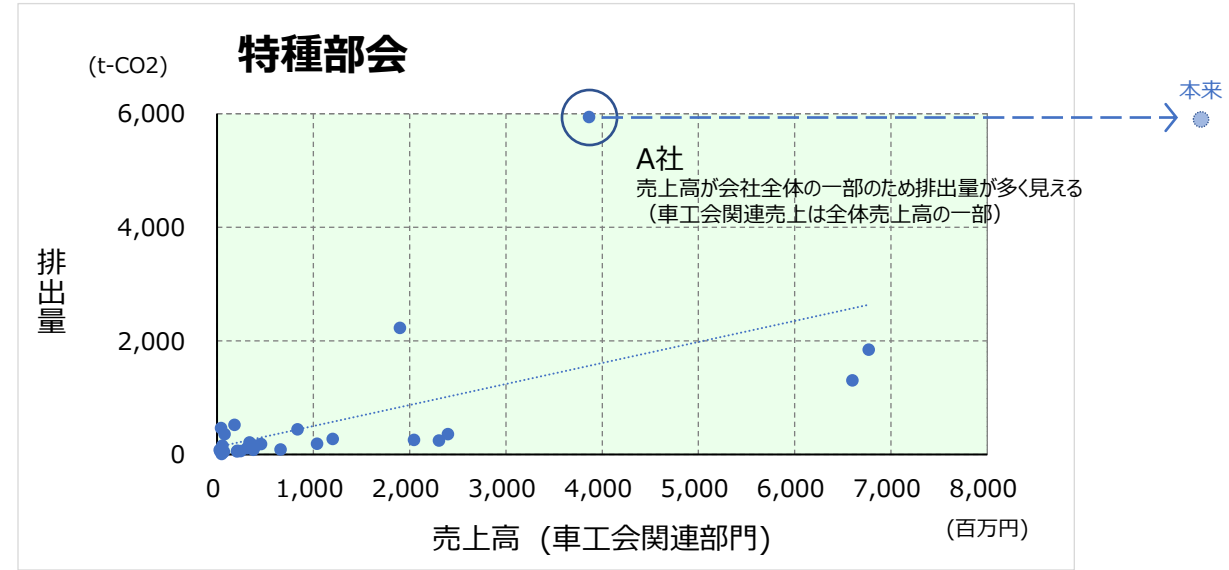
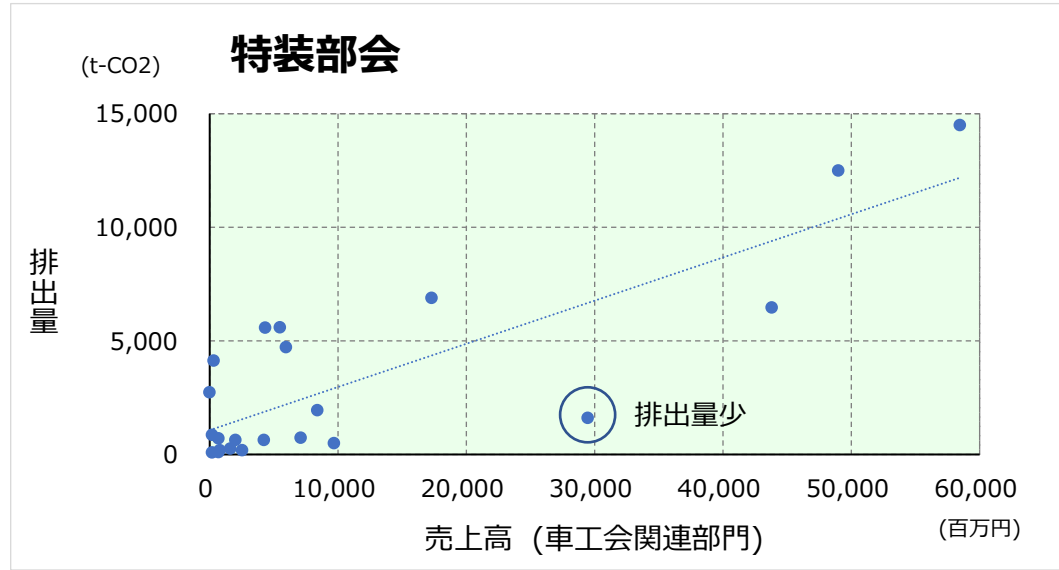
注：『車工会関連部門のみの売上高』に対し、『CO2排出量は企業全体』の会員あり
(売上高に対し、排出量が多く見える)



3. CO2排出量・売上高 散布図

【部会別】 ※複数所属の会員は生産台数の多い部会とする

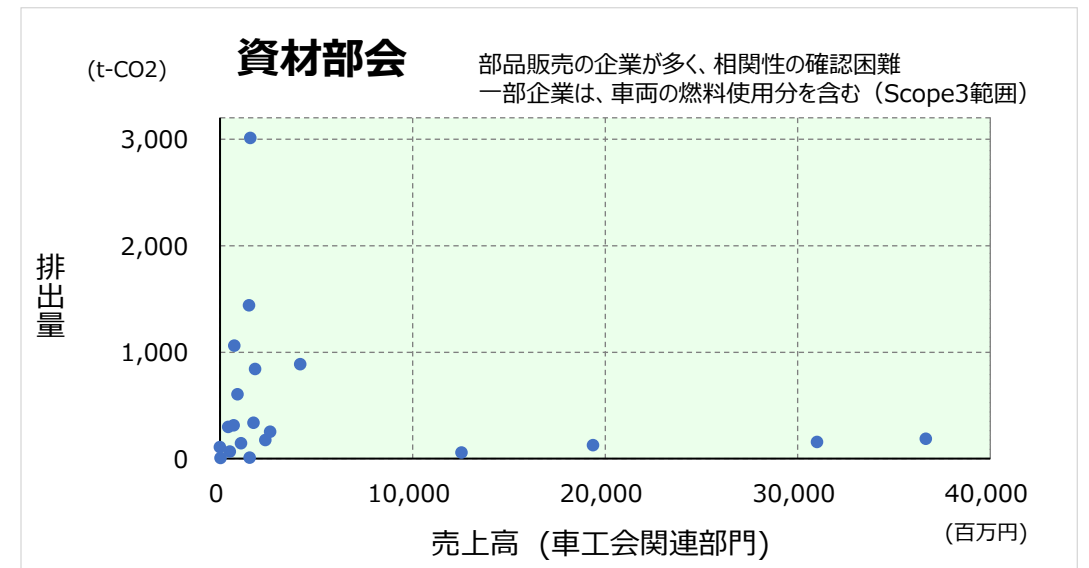
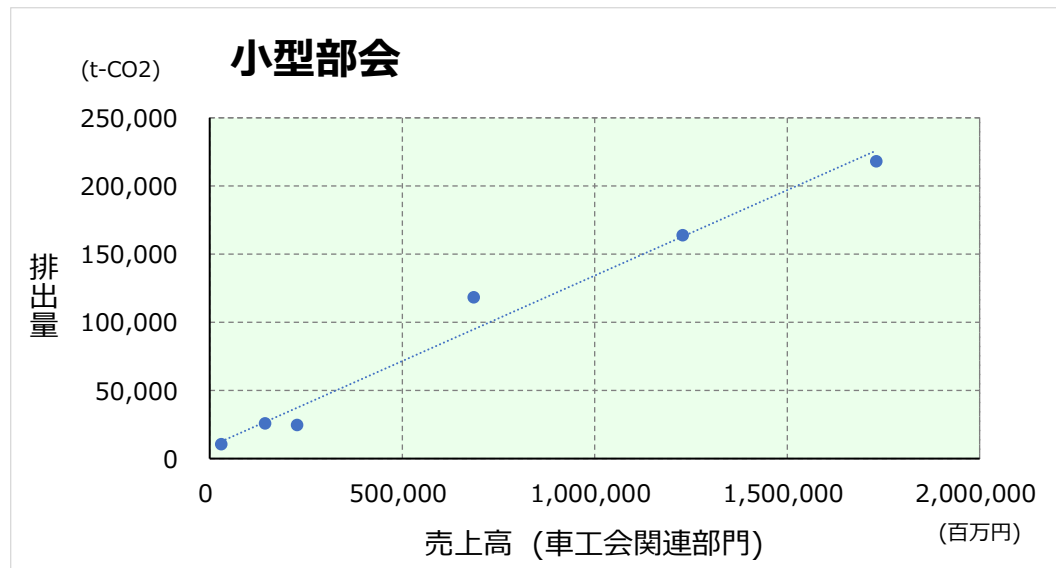
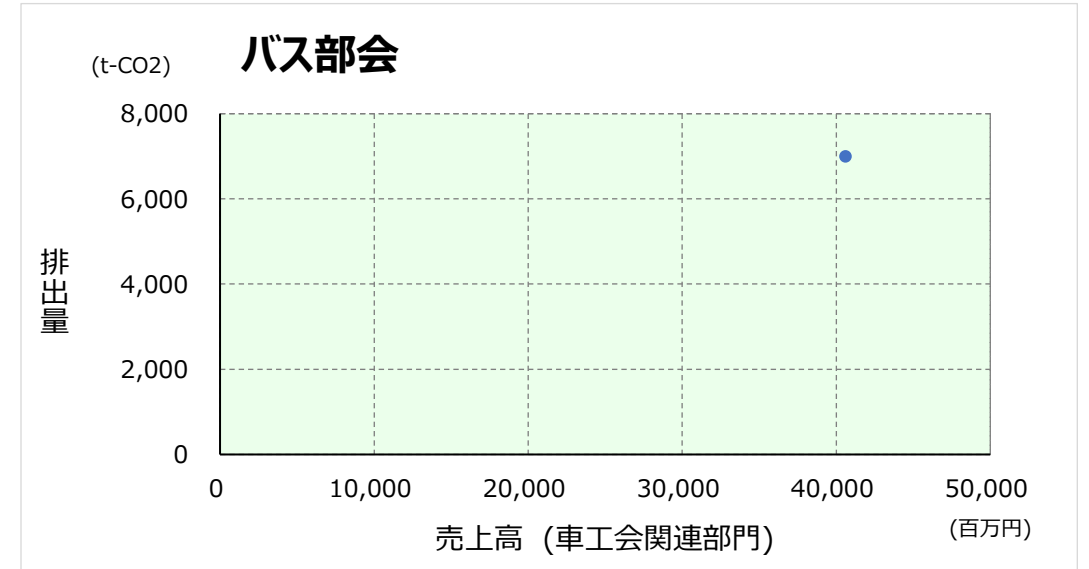
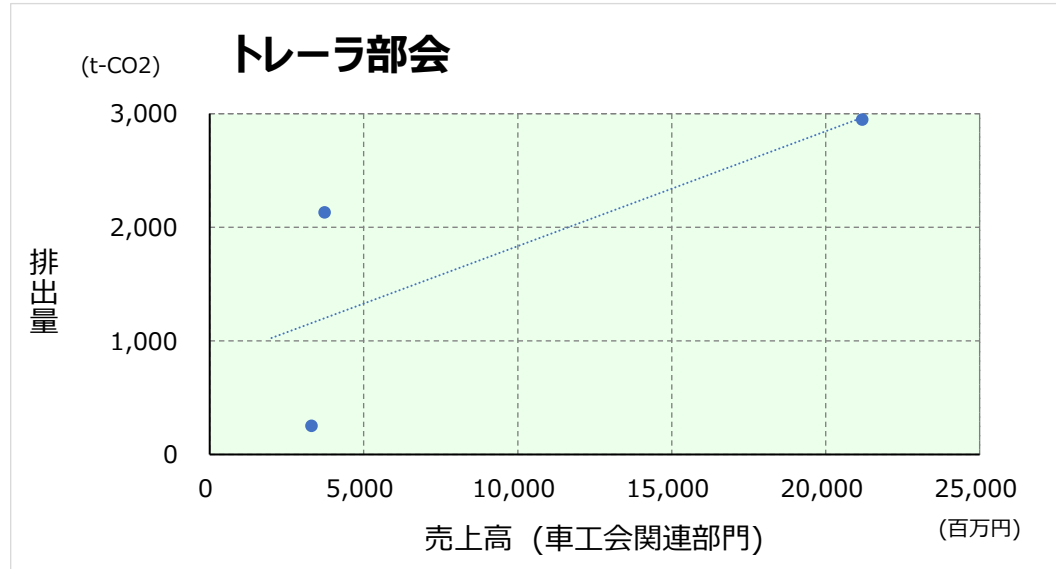
注：『車工会関連部門のみの売上高』に対し、『CO2排出量は企業全体』の会員あり
(売上高に対し、排出量が多く見える)



3. CO2排出量・売上高 散布図

【部会別】 ※複数所属の会員は生産台数の多い部会とする

注：『車工会関連部門のみの売上高』に対し、『CO2排出量は企業全体』の会員あり
(売上高に対し、排出量が多く見える)



CN専門委員会 2022年度事業計画（案）

2022.2.9
車工会 事務局

1. 2022年度事業計画の考え方

2021年7月15日理事会で「CN専門委員会」設置を審議頂いた際の以下目的、及び2021年度活動を踏まえ事業計画を立案する。

<CN専門委員会の目的>

- ① CNに向けた**ビジョンの明確化**、「CN対応取組み」の方針、進め方を論議、決定。
- ② 「CN対応の取組み」における、電動車、生産領域への対応と「中小会員支援策」の連携を図り、全会員の確実な対応を推進、フォロー。

<2021年度活動（理事会提案時の「今後の進め方」より）>

- ① 会員様の現状調査（会員様のCNに対する意識、課題等）
- ② 委員会運用の確認及び**本部委員会との連携**について論議・確認
- ③ 部会連携、支部連携の論議・確認
- ④ 現状で想定できる課題の洗い出し、整理（会員様の現状調査と連携）
- ⑤ 会員様に正しく理解いただくためのやり方検討（講演会、勉強会 他）
- ⑥ 5団体活動を含め、関連情報集とそれに基づく**車工会の課題検討**

中長期の取組み、本部委員会との連携（役割、分担）、車工会としての課題を明確にし、2022年度事業計画をスタート

2. 車体工業会 CN専門委員会 2021年度振り返り

取組み結果と課題

推進項目	内容	実績	課題（次年度に向けて）
Step 0 現状調査	◇会員のCNに対する意識、課題の把握	◇ CNアンケート調査実施 （'21/7/16~10/4） ・回収率 100%（辞退含む） ・CN理解度や対応状況を把握し層別実施 ・今後の取組みに向けた検討データベース化	◇ 製品領域（技術）について未論議 →本部委員会と連携した電動化等の課題や困り事の洗出と、対応検討 ◇部会別のCN推進上の課題の収集と対応
Step 1 理解活動	◇講演会(勉強会)実施 ◇各種情報提供（含む5団体活動） パンフレット作成・展開 車体NEWS掲載 他	◇ CN勉強会を実施 （全5回開催）※第4回含む →73社（96名+a）受講 ・参加会員は狙い通りCN理解度が向上 ・もの足りなさを感じる会員が増えている ・CN理解度の低い会員の参加率は16%にとどまる ◇ パンフレット展開、HP掲載実施 (全3回発行) ・車体NEWSにも掲載実施 ・5団体連携活動での有効情報が少なかった	◇ CN理解度の低い会員への入門編の継続とレベルアップした勉強会の開催 →要望を収集し取組み内容検討・実施 ◇ 有益な情報をわかりやすく発信 ・パンフレット展開継続 ・HPにCN専用ページ開設（Q&Aコーナー等） ◇5団体連携活動の継続 ・LCAルール策定論議への参画
Step 2 理解把握	◇個社CO2排出量の算出ツール提供 ◇会員各社の状況把握と対策検討、実施	◇ 【簡易版】CO2排出量算出ツール提供 ◇ エネルギー使用量調査実施 ・車工会全体のCO2排出量把握と各会員へ自社の規模感確認 →CN取組みの意識付け	◇ CO2換算係数の統一 →目標設定と整合した算出ツールの改訂版を展開 ◇ エネルギー使用量調査のルール化 ・CO2排出量のフィードバックとCN取組み支援
Step 3 目標設定と対策検討	◇個社の目標値設定や対応策の支援検討、推進 ◇対策状況の見える化（対策状況把握ツール）	◇車工会の目標設定について論議	◇ 他委員会（技術・環境）との連携強化 →情報共有及び役割分担の明確化と体制強化（CN目標設定、電動化対応等） ◇ 車工会のCNに向けた推進計画とKPIの明確化 →ロードマップ策定

3. 車体工業会 CN推進ロードマップ 《 2021~2030 》

年度	2021	2022	2023	2024 ~	2030
	実現に向け 実行【低炭素化】				全会員が 低減目標を達成
Step 0 現状調査	意識課題の 調査・把握	業務軸・技術軸の 課題、困り事把握	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査、部会毎の意見吸上げ CN対応状況分析、層別 課題洗い出し、進め方整理 	各委員会と共同で推進 (技術・業務・環境)	新たな課題を 洗い出し
Step 1 理解活動	基本情報提供	情報収集・展開 (好事例・QA集) ・パンフレット発行、車体NEWS、HP専用ページ開設、他			
	勉強会	LCA (Scope3) 情報収集・展開			
	環境委員会と 共同で推進	入門編	フォロー	目標：2022/9末までに、全会員がCN理解100%	
		実行編・応用編 ・レベルアップ支援			新技術・新制度の紹介、説明会等 都度実施
		自動車5団体CN活動展開			①個社CN化 (Scope1,2) ②SCのCN化 (Scope3) ③事業転換
					CNに向けた 理解活動の 検討・実施
Step 2 理解把握	CO2排出量把握、フィードバック (1/年)		各社の推進状況確認、対策検討		
	自工会	LCA評価ツール、ルール策定	会員へ展開		データ共有
	5団体統一ルール展開(自工会LCA分科会が検討中)				
Step 3 目標設定と 対応策検討	環境委員会が 主導で実施 従来の工場環境 分科会活動	目標設定 (車工会・個社)	フォローアップ		CNに向けた目標 見直し、設定
		① 活動項目、対応策の検討支援 (省エネ、再エネ導入等) ② CO2排出量の実績把握と活動状況フォロー・対応			
	中央業務委員会が 主導で実施	取組み支援 各委員会と役割分担を決め連携			CNに向けた 更なる支援内容 検討・実施
	中央技術委員会が 主導で実施 WG発足し活動開始済	<ol style="list-style-type: none"> 省エネ(低炭素)改善事例の収集と会員展開 工程への訪問支援 (5団体支援含む) 再エネ・省エネ設備等の投資検討支援 (費用対効果の算定方法等) CN推進上の課題集約と対応 電動化に伴う技術課題への対応 コネクテッドに関する技術課題への対応 			

3. 車体工業会 CN推進ロードマップ 《 2030~2050 》

年度	2030	~	2040	~	2050
	実現に向け 挑戦 【カーボンニュートラル】				
OEMのCN達成目標	政府：商用車 8t以下 2030まで電動車20~30%、2040までに100%(電動車、脱炭素燃料) 8t超の大型は、2030までに2040の電動車の普及目標を設定 乗用車 2035までに 電動車100%				トヨタ、日産、ホンダ、マツダ 三菱ふそうトラック・バス 日野、いすゞ(LC全体) スバル(Scope1,2)
Step 0 現状調査	新たな課題を調査・把握	電動化対応の調査			C N 達 成
Step 1 理解活動	CNに向けた理解活動の検討と推進計画	情報収集・展開（好事例・QA集） 5団体活動（電動化）情報展開			
Step 2 理解把握	CO2排出量把握、フィードバック（1/年） 継続実施 ・LCA評価ツール使用のフォロー ・5団体連携により改定等展開（都度）				
Step 3 目標設定と対応策検討	CNに向けた目標見直し、設定	フォローアップ			
Step 4 取組み実行進捗確認	CNに向けた更なる支援内容検討・実施	省エネ(低炭素)活動の取組み支援継続 新技術、新制度展開			
			・新エネルギー(水素等)活用、環境価値証書購入 等		

4. 2022年度 CN専門委員会 事業計画

推進内容と実施項目

推進項目	内容	実施項目
Step 0 現状調査	(1)業務軸・技術軸の課題、 困り事把握	(1)会員の実態把握と対策検討 ①アンケート調査、部会毎の意見吸上げ、②CN対応状況分析、層別、③課題洗出し、進め方整理
Step 1 理解活動	(1)情報収集・展開 (好事例・QA集) (2)勉強会 (3)自動車5団体CN活動	(1)CN取組み事例展開 ①環境変化、会員の現状調査を踏まえたパンフレット発行、車体NEWS、HP専用ページ開設など (2)双方向勉強会の継続 【環境委員会と共同】 ①現状調査に基づく入門編終了の見極めと新入会員対応、及び終了以降の会員要望対応の検討、推進 ②会員要望を踏まえたレベルアップ支援策としての実行編・応用編の推進 (3)自動車5団体CN活動展開 ①個社CN化 (Scope1,2) 、SCのCN化 (Scope3) 推進支援 ②事業転換など経営関連情報の展開
Step 2 理解把握	(1)CO2排出量把握、 フィードバック (2)LCA評価ツール、 ルール策定	(1)会員のエネルギー使用量調査に基づくCO2排出量把握、フィードバック (1回/年) 【環境委員会主導】 ①実施ルール構築、実施方法の検討、対応 (2)LCA評価ツール展開 ①5団体統一ルールの確認・展開 (自工会LCA分科会が検討中)
Step 3 目標設定と 対応策検討	(1)目標設定 (車工会・個社) (2)取組み支援	(1)車工会の目標設定について論議 ①活動項目、対応策の検討支援 (省エネ、再エネ導入等) 、②CO2削減活動状況フォロー・対応 【環境委員会主導】 (2)関連委員会と連携した取組み支援 ① 省エネ(低炭素)改善事例の収集と会員展開 【環境委員会主導】 ② 工程への訪問支援 (5団体支援含む) 【環境委員会主導】 ③ 再エネ・省エネ設備等の投資検討支援 (費用対効果の算定方法等) 【環境委員会主導】 ④ CN推進上の課題集約と対応 【中央業務委員会主導】 ⑤ 電動化に伴う技術課題への対応 【中央技術委員会主導】 ⑥ コネクテッドに関する技術課題への対応 【中央技術委員会主導】

【6/7ページの2022年度事業計画における
本部委員会との関係】

